

健康・生活科学委員会（第26期・第2回）議事録（概要版）

日 時：令和6年4月24日（水）11:30～12:45

会 場：日本学術会議5－B会議室およびオンライン会議システム併用

出席者

会場：磯、西村（委員長）、野出

オンライン：杉山（副委員長）、熊谷、玉腰、森山、山口、田中（敬称略）

記 録：幹事 熊谷

議 題：

新メンバーの紹介

- （1）第二部会からの報告
- （2）各分科会の活動報告
- （3）2024年度の予算と予算執行方針
- （4）その他

・新メンバーである、野出孝一委員と田中純子委員から自己紹介があった。

議題（1）第二部会（第3回）からの報告

- 1 意思表出の時期とフォローアップについて（＋分科会WGより）、委員長より報告があった。
- 2 総会での「活動報告」より、連合体についての確認依頼があった。

議題（2）各分科会の活動報告：進捗と課題について

各分科会の委員長から進捗の報告があった。

- 1 ヘルスケア人材共創に向けた看護学分科会（西村）
- 2 健康・スポーツ科学分科会（山口）
- 3 生活者視点で健康と暮らしの課題を検討する家政学分科会（杉山）
- 4 高齢者の健康・生活分科会（森山）
- 5 生活習慣病対策分科会（野出委員）
- 6 共生社会に向けたケアサイエンス分科会（熊谷）
- 7 パブリックヘルス科学分科会（玉腰）

分科会の活動については、相互に関連する内容があるため、定期的に情報共有をして、連携していくこととなった。

関連する省庁や学協会とも連携して活動を進めることとなった。

議題（3）2024年度の第二部における予算と予算執行方針（西村）

- ・ 第二の予算、及び委員会の開催回数について説明があった。
- ・ 対面開催のため旅費の使用が必要な場合は、理由を添えて事務局へ提出することが確認された。

議題（４）その他

- ・ 分科会の活動について、継続的に共有するため、１－２カ月に１回、１時間をめどに、委員会を開催する。
- ・ 省庁との交渉は、各分科会に加えて、委員会レベルでのコミュニケーションもとっていく。
- ・ 意見の表出は、連携してお互い引用しあいながら行うこともできるため、意見表出のアウトラインの段階で共有、連携していく。